

「シーガー使って今日も快釣」

吉岡進のワンポイントアドバイス

★吉岡さんのラインシステムを紹介しよう。ショックリーダーは「シーガーグランドマックスショックリーダー」の24ポンド（5号）3メートル。これにタッチウオの歯からライン切れを防ぐバイトリーダーとして、「シーガープレミアムマックスショックリーダー」81.5ポンド（22号。小型が多いときは14号）を付けるのが吉岡流。

「このシステムはアタリを取りやすく結節を強化するため強く張りのあるリーダーに、しなやかなバイトリーダーを組み合わせています。道糸のシーガーPEX8は色落ちもしにくく、ささくれもないので本当に長持ちします」と吉岡さん。各所の結び方は近日、動画にて公開予定。

シーガーグランドマックスショックリーダー

● 8 ~44.5lb (1.5~10号)まで12種。6号前30m巻き、7号25m巻き、8~10号20m巻きで価格はオープン。

シーガープレミアムマックスショックリーダー

● 2 ~81.5lb (0.4~22号)まで22種。6号まで30m巻き、7号25m巻き、8号20m、10号以上50m巻きで価格はオープン。

シーガーPEX8

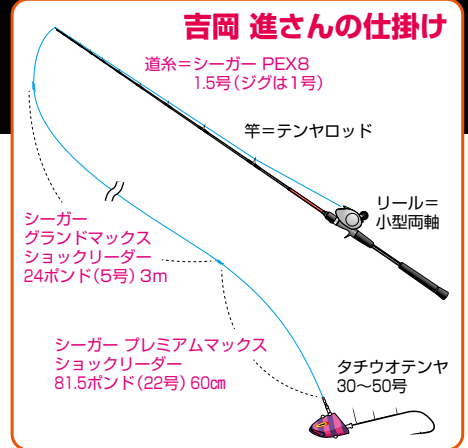
● 0.4~6号まで。1.5号は150m、200m、300m巻き。オープン価格。



▲リーダーとバイトリーダーの結び方



▲バイトリーダーとサルカンの結びはユニノット



吉岡 進さんの仕掛け

道糸=シーガー PEX8 1.5号(ジグは1号)
竿=テンヤロッド
リール=小型両軸
シーガーグランドマックスショックリーダー 24ポンド(5号) 3m
シーガー プレミアムマックスショックリーダー 81.5ポンド(22号) 60cm
タッチウオテンヤ 30~50号



▲試行錯誤を重ねて導き出したテンヤの1本目



▲ジグでリサーチすると小型がヒット



▲観音崎〜走水沖で主に大型狙いに徹した



▲鈴木さんは超小型電動の利点を生かして低速巻きを駆使
▲同じ釣り方を通すことも答えを導く方法の一つ

乗船したのは東京湾奥金沢漁港の蒲谷丸。船長の見立てでは今のところ中小型が多いので、数を釣るならテンピン、大型狙いならテンヤとのこと。「攻略のしがいがありますね。数は難しいですが、テンヤ釣りでいきましょう」と2人の意見はまとまった。7時半に出船し、まずは観音崎〜走水水深50〜60メートル前後のポイント着。タナは40〜45メートルの指示で釣り開始となった。吉岡さんの釣り方は、まずタッチウオの活性を見る意味で、リールを3〜5回巻いて止める、これでアタリがなければ巻く回数や時間を少なくしていくストップ&ゴー。この釣り方で攻めていくが、時折アタリはあるもののハリ掛かりしない。そこで吉岡さんは船長の了解を取って、メタルジグでリサーチ。タナが狭いと判断し、横スライドするタイプのジグを探ると、あっさりとして小型が掛かってきた。一方、低速巻きのバイブレーション釣法で狙い続けている鈴木さんに大型がヒット。その後ポツポツながら釣る。それを見た吉岡さんは、大型



★最後の最後、定番アクションにひと工夫加えて釣り上げた自身の当日最大魚

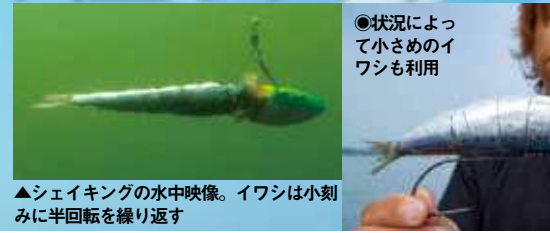
Challenge #66 東京湾奥 金沢漁港出船の タチウオ

釣れる 釣れる 釣れる 次第は

吉岡進、鈴木新太郎

大型狙いでテンヤ釣りに挑戦 試行錯誤の末の 大型キャッチ!

●梅雨明けとともに夏タチウオのシーズン到来となった。このときを狙ってシーガーフィールドスタッフの吉岡進、鈴木新太郎の両氏がそろってタチウオ狙いへと繰り出した。中小型メインとなるこの時期でも、やはり2人の目論見は大型狙い、躊躇なくテンヤ釣りを選ぶのだった。



▲シェイクキングの水中映像。イワシは小刻みに半回転を繰り返す



★吉岡さん愛用、シーガーのライン

乗船したのは東京湾奥金沢漁港の蒲谷丸。船長の見立てでは今のところ中小型が多いので、数を釣るならテンピン、大型狙いならテンヤとのこと。「攻略のしがいがありますね。数は難しいですが、テンヤ釣りでいきましょう」と2人の意見はまとまった。7時半に出船し、まずは観音崎〜走水水深50〜60メートル前後のポイント着。タナは40〜45メートルの指示で釣り開始となった。吉岡さんの釣り方は、まずタッチウオの活性を見る意味で、リールを3〜5回巻いて止める、これでアタリがなければ巻く回数や時間を少なくしていくストップ&ゴー。この釣り方で攻めていくが、時折アタリはあるもののハリ掛かりしない。そこで吉岡さんは船長の了解を取って、メタルジグでリサーチ。タナが狭いと判断し、横スライドするタイプのジグを探ると、あっさりとして小型が掛かってきた。一方、低速巻きのバイブレーション釣法で狙い続けている鈴木さんに大型がヒット。その後ポツポツながら釣る。それを見た吉岡さんは、大型